

皆さんおはようございます。2学期の終わり、そして年末にあたり、今日は三つのことをお話しします。

一つめ。この2学期を振り返ってみると、実にいろいろな行事がありました。

世界一の文化祭、宇宙一の体育祭、楽しすぎた修学旅行、横浜遠足、よみうりランド、ロードレース大会、球技大会。これらの行事を通して皆さんは、自分の力の限界に挑戦したり、クラスの親睦を深めたり、友達の輪を広げたりしたことでしょう。

さらに、いくつもの部活動や有志の皆さんが支えてくれた10月の三橋地区の避難場所運営訓練、11月のさいたま国際マラソン、9月から12月まで4回の学校説明会。これらの催しを手伝うことで、参加してくれた皆さんは新たな経験をし、もしかしたらそこで新たな発見をしたかもしれません。

もちろん行事だけではありません。中間考査、期末考査、土曜セミナー、スタディサプリ、週末課題、そして何よりも日々の勉強や部活動と毎日の学校生活。何気ない日常生活の中でも、皆さんは様々な経験を重ねてきているのです。

そしてこの2学期、これらの学校行事や学校生活の中で、皆さんは日々磨かれてきました。皆さんの内面は常に成長し、進化してきました。それは、自分ではあまり実感できないかも知れません。でも、入学したばかりの4月、進級したばかりの4月と、今の自分とを比べてみてください。そこに少しでも自分なりの成長の跡が見えるならば、この大宮西高校での経験が影響しているのだと思います。

ここでいう、皆さんを成長させ、進化させる経験とは、必ずしも上手くいった経験だけではありません。むしろ失敗したり、不十分だったり、悔しかったりした経験こそが、皆さんを成長させ進化させるのです。そして、少しずつ成長し進化した皆さんは、次第に、以前はできなかったことができるようになります。

皆さんはこれからもまだまだ大きく成長し、進化し続け、様々なことができるようになります。

二つめ。今年のノーベル医学・生理学賞の受賞者に、東京工業大学名誉教授の大隅良典（おおすみ よしのり）先生が選ばれました。大隅先生は、細胞が不要になったたんぱく質などを分解する「オートファジー」と呼ばれる仕組みを解明したことが讃えられました。日本人の医学・生理学賞の受賞は、去年の大村智（おおむら さとし）先生に続く2年連続、4人目です。

大隅先生の研究は、今年とか去年とか、そんな短い期間での活躍が讃えられたのではなく、何十年もの研究の成果が認められたことによる受賞です。その過程では、何百、何千、もしかしたら何万もの失敗があったことでしょう。それでも途中で研究を投げ出さず、遂には輝かしい成果を挙げたのです。失敗の中で成長し、進化したのは、基本的には皆さんと同じです。

では、大隅先生は「ノーベル賞を目指して」地道な研究を続けたのでしょうか？ いいえ、そうではありません。大隅先生に限らず、ノーベル賞受賞者に共通して言えるだろうことは、ノーベル賞受賞という「栄冠」を目指して研究や活動をしているのではなく、それぞれの分野で、みんなのために、より良い世の中になるように力を尽くしているという

ことです。ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランだってそうです。

さて、ここまで聞いて、「あれ？前にもこんな話を聞いたことがあるぞ」と思った2年生と3年生はいませんか？ 実は、去年の2学期の終業式で話したのと、ほとんど同じ話をしています。手抜きではありません。人は、その時にはちゃんと聞いて理解した話でも、いつまでも胸に留めておくのは難しいものです。だから校長はじめ先生方は、皆さんに伝えたい大切なことを、何度でも繰り返し、言葉を変えて届けているのです。

さて、三つめは、一つめの話と二つめの話を踏まえてお話しします。

一つめにお話ししたのは、皆さんの成長と進化についてです。ポイントはこうです。

「上手くいった経験だけではなく、むしろ失敗したり、不十分だったり、後悔したりした経験によって、皆さんはまだまだ成長し、進化し続け、様々なことができるようになる。」

二つめにお話ししたのは、ノーベル賞についてのことです。ポイントはこうです。

「みんなのために、世界を、この世の中を、もっと良くするために力を尽くすことが、結果として世界から賞賛される。」

この二つのことを踏まえて、皆さんに冬休みの宿題を出します。これから言う課題に対する自分なりの答えを、冬休み中に考えて来ててください。課題は去年とほぼ同じですが、微妙に違います。

「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいか。」

来年1月10日の3学期始業式で、皆さんの中から何人かを指名しますので、その場で答えてもらいます。正解はありません。正解はありませんが、皆さん一人一人の考えや思いは、皆さんの頭と心の中にあります。今はまだ無くても、西高生である皆さんには、きっと宿ると期待しています。

もう一度言います。来年1月10日の3学期始業式で、皆さんの何人かを指名しますので、次の課題についての自分なりの答えを、冬休み中に考えておいてください。

「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいか。」

課題は、担任の先生に教室に掲示してもらいます。また、私の話は、ほとんど全て大宮西高校の公式ホームページ上の「校長室」というページに掲載してあります。今日のこの話もすぐに掲載しますので、課題の内容を改めて確認したいという人は、ホームページを見てください。

以上で今年最後の私の話を終わります。

I hope you all have a Merry Christmas and a Happy New Year.